

各務原市方針と重点

誇り・やさしさ・活力のある児童生徒

- (1) たくましく生き抜く力の育成
- (2) 安心して学べる教育環境の提供
- (3) 学校・家庭・地域の連携による地域ぐるみでの教育の充実

学校課題

- ・児童相互の気持ちを尊重する人間関係づくり（望ましい集団づくりを通して）
- ・児童自ら問題（課題）について考え、仲間とともに解決する力
- ・学力の定着と向上（特に算数・理科）

学校職員として

- ・常に笑顔で誠実、そして謙虚
- ・美しい日本語、美しい環境
- ・美しい心（確かな人権感覚）
- ・共感的な生徒指導力
- ・確実な授業力と豊かな学級経営力

学校の教育目標

深く考え 思いやりがあり からだをきたえる たくましい子

経営の重点(子どもと職員の合言葉)

笑顔（美しい心）でつながる蘇一小ピース



1学期 つくる むかう かんしゃ 2学期 むかう もえる かんしゃ 3学期 むかう つなぐ かんしゃ

学級目標実現にむかう学級経営と宝物づくり

教師と子供、子供相互の「ありがとう」

笑顔①<笑顔でつながる職員集団>

- 互いを尊重し、組織で動く職員集団（チーム蘇一）
- 共感的な生徒指導に徹する職員（児童の気持ちに寄り添う）
- 児童の人権を尊重し、美しい言葉で指導する職員（褒める 認める 指導とは褒める機会をつくること）
- 危機管理能力の高い職員（最悪の場合を想定し 慎重に 素早く 誠意をもって 組織で対応）

笑顔②（知）

<つないで考える子供>

- 授業に【むかう】【もえる】
- 確実な教材研究と児童理解
- わかる・できる授業実践
 - ・課題解決の見通し
 - ・考えを表現、交流
 - ・考えの互いに交流する
 - ・3つの見届け
- ユニバーサルデザイン
- 少人数（算数）教科担（理科）

笑顔③（情・意）

<仲間とつながる子供>

- 「蘇一小ピース」の具体化
- 学級目標に【むかう】姿の価値付け → 宝物の蓄積と掲示
- 発達段階に応じた【むかう】【もえる】【かんしゃ】活動の実施
- 児童の気持ちに寄り添う教育相談の充実 QUの実施
- 道徳、特活の充実
- なかよし遊びの継続

笑顔④（意・体）

<元気につながる子供>

- 笑顔でつながるあいさつ（児童会・PTA・蘇中校区）
- 無言掃除・ボランティア
- 蘇一小ルール
- 20分休みの学級遊び
- 元気アップ大作戦
- 児童と一緒に楽しく元気に遊ぶ職員
- 大縄跳び大会

研究主題

主体的に学び、確かな学力を身に付ける児童の育成

組織

企画委員会 運営委員会 職員会議 生活指導部 健康安全指導部 特別活動指導部
研究推進委員会 資質向上委員会 いじめ不登校等のケース会議 現職研修 情報交流会

笑顔⑤<家庭や地域とつながる学校>

- ・学校だより、学年通信、学校ホームページ等による情報の発信
- ・地域の教育力の活用（放課後学習室・福祉学習・地域の歴史学習・戦争体験等）
- ・「蘇原中校区3校生徒指導交流会（年3回）」、幼稚園、保育所等との情報交流と連携の強化
- ・PTA（本校PTA、蘇原中校区3校PTA連絡協議会）、青少年育成市民会議、子ども会との連携
- ・「学校評議員」の学校評価、保護者の「学校評価アンケート」の結果公表を通して、開かれた学校をめざす。
- ・「いじめ未然防止・対策委員会」、「学校生活アンケート（月1回）」による指導の徹底